

下樁集落(魚津市上中島地内)

農業生産条件の強化を図るため、集落内農家の自主施工により、農道のコンクリート舗装、水路の更新を行っている。自主施工にあたり、工事費の経費削減に努め、農家自らが補修・更新を行うことで、農用地保全への意識が高まってきた。

また、農地法面の芝植栽や鳥獣被害防止のための電気柵設置にも取り組んでいる。



水路の直営施工

若宮集落の環境を保全する会(立山町新川地内)

黄花コスモス等綺麗な花が整然と植えられ、一年中目を楽しませてくれる「フラワーロード」、延長3.5kmに達する「ヒメイワダレ草」植栽や地域ぐるみで遊休農地や水路法面の管理の徹底に取り組んだことにより、目に見える形で景観保全が図られたことが地域の励みになっている。



フラワーロードへの花苗植栽

牧田湧水の郷(射水市串田地内)

湧水が豊富な地域であり地域内の開水路において、水田管理の人が歩く開水路天端のみ草刈りを行い、(法面は草刈を行わず)草を川側に垂らし、魚が鳥から身を守りやすいようにし、また魚の餌となる昆虫類が生息しやすいようにするなど、生態系に配慮した地域ぐるみの活動に取り組んでいる。

また、毎年生き物調査を開催し地域の自然とのふれあいにより参加する子供たちの環境意識を高めている。



生態系保全看板の設置

屋波牧集落(小矢部市宮島地内)

過疎化・高齢化により、農業生産活動が困難な農地での生産活動や草刈作業等の維持管理を年間を通して集落ぐるみの共同作業として行っている。さらに、桜の植樹による景観整備も行っている。

また、耕作放棄地を利用し赤かぶ等の農産物の生産・加工・販売を行い、また、学校と連携し農産物の栽培を行い、児童の農業体験学習を行っている。



耕作放棄地を活用した児童農業体験学習

宮村地区環境保全推進委員会(砺波市庄下地内)

遊休農地を活用して水車等のあるビオトープ「せせらぎの里」を整備することにより、減り続けている昔ながらの動植物や昆虫の復元を目指し活動するとともに、生き物調査や外来種「セイタカアワダチソウ」の駆除を行うなど生態系保全に取り組んだ。また、手作りによる環境保全看板の設置により集落への周知も図っている。



女性・子供も参加したビオトープ整備

院瀬見地区環境保全委員会(南砺市南山見地内)

地区の中心部を縦断する広域農道沿い約1.0kmに、隣接する地区と連携してラベンダーの植栽を実施した。植栽から管理までの作業は地区住民総参加で行い、地域の景観向上に努めた。

また、クマ対策として里山の下草刈等を地域ぐるみで徹底して取り組んだ。



ラベンダーロードの維持管理